

厳しい寒さが続いておりますが、皆様お変わりございませんか。

アートは、人の内面にじんわりとしみ込み、心に元気をくれる栄養剤だと信じます。アートの力の輪がより大きく広がって行きますように、微力ながらもそんな活動が出来れば、と思います。

それでは2月に開催します展覧会のご案内を申し上げます。

1月に続き1階は12日まで櫻井農正展、2階は5日まで30歳未満34名による贈展です。

その後、2月は1、2階合わせ全部で7つの展覧会を紹介させていただきますが、何と全員日本画です。恵風ではとてもめずらしいことです。大学で日本画専攻に在籍している方、卒業後働きながら作家としての道を切り開こうとしている方、すでに作家活動をされている方。それぞれの個性あふれる作品を発表してくれます。自然との関わりや日常生活の中で自分が伝えたいこと、描きたいテーマをみつめて、作品に想いを込め切磋琢磨してきた12人。恵風という土俵で、どんな取り組みをみせていただけるのでしょうか。

どうぞ、ご来場いただき、今後の成長が期待されます作家たちに、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具 野村恵子

今春、恵風は京都国際美術展「ART KYOTO 2012」のサブ会場となるホテルモントレ京都に出展いたします。ご期待下さい！

開催期日：4/27（金）～4/29（日）
出展会場：ホテルモントレ京都（烏丸通三条下ル）
5階 537号室
出展作家：石橋静 植葉香澄 藤平三穂
岸雪絵 ツツミアスカ 牧野浩紀

楽しい企画、展覧会のご感想やご意見・ご要望などございましたら、ぜひお聞かせ下さい。今後の活動に生かしていきたいと存じます。

発行日 2012年1月20日
発行人 野村 恵子
発行 ガallery-恵風
〒606-8392
京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側
TEL：075-771-1011
FAX：075-771-0358
E-mail：g-keifu@hotmail.co.jp
URL：http://keifu.blog86.fc2.com

2F

2月7日（火）－2月12日（日）

5人の絵のことば

高橋みはる・谷内春子・土橋藍・平島純子・道園佳央理

大学の同じアトリエで描いていた5人の展覧会です。それぞれの進路をゆく中で、絵に寄せる気持ちや理想の違いがより明確になってきました。この展覧会では、作品を持ち寄って互いの刺激にだけでなく、観てくださる方との関わりを大切に、さらなる成長の機会にしたいと思っております。ぜひご来場ください。（一同）

高橋みはる TAKAHASHI Miharu
1987 大阪府生まれ
2009 京都市立芸術大学美術学部美術科日本画専攻卒業

谷内春子 TANIUCHI Haruko
1986 京都市生まれ
2011 京都市立芸術大学大学院博士課程日本画領域入学

土橋藍 DOBASHI Ai
1986 大阪府生まれ
2011 京都市立芸術大学大学院美術研究科日本画修了

平島純子 HIRASHIMA Junko
1979 東京都生まれ 茨城県出身
2009 京都市立芸術大学美術学部美術科日本画専攻卒業

道園佳央理 MICHIZONO Kaori
1986 福岡県生まれ
2011 京都市立芸術大学大学院美術研究科日本画修了

1F + 2F

2月14日（火）－2月19日（日）

“focal point” 滑川 道広 × 後藤 吉晃

滑川道広と後藤吉晃による二人展です。
1F/2Fを使用し、個展形式で展示を行います。
今回のタイトルである“focal point（焦点）”の意は、一点を示すことにあります。
私達が現在行っている制作は、滑川は既存する日本画の視点を、後藤はありふれた日常の風景に対する視点を、解体し再構築することで新たな意図を見出す試みです。
それぞれが結ぶ焦点と、また二人の視点が会場で結ぶ焦点を御高覧して頂ければと考えています。（滑川・後藤）

滑川道広 NAMEKAWA Michihiro
1977 東京都生まれ
2006 京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース 卒業
2008 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻 修了
【主な展示】
2008 「第4回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展」(豊橋市立美術館)
「JAPAN ART NEXT 2008 for west 次世代のソース展」
(海岸通ギャラリーCASO/大阪)
2009 個展(GALLERYはねうさぎ/京都)
2010 「第3回The NIHONGA」(京都文化博物館/京都)
個展「How do you sleep?」(GALLERYはねうさぎ/京都)
2011 「第5回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展」(豊橋市立美術館)

後藤吉晃 GOTO Yoshiaki
1983 山形県生まれ
2006 京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース 卒業
2008 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻 修了
【主な展示】
2006 「京展」(京都市美術館) 同'07
2008 「県美展」(山形美術館、他9会場)奨励賞 同'10県美展賞、'11
2010 「Gen」(galleryRAKU/京都)
「ART AWARD NEXT #1」(東美アートフォーラム/東京)
2011 「画心展selection vol.1」(佐藤美術館、東京芸術学舎/東京)
「十一の海 -キョウトノ ニホンガ ト ヤキモノ 2011-」
(日本経済新聞社本社 SPACE NIO/東京)

1F

2月21日（火）－2月26日（日）

樋口 新 個展

最近自宅で生き物を飼うようになった。毎日元気に楽しそうに動いてる日があれば、体調を崩して元気がない日もある。そして時には死んでしまうこともある。
その身近でおきている「生」と「死」に対し、すぐ疑問を抱くようになった。生まれてきて何をするのか。死ぬとどうなるのか。亡くなった後は…
その「生」と「死」そして「その後」をテーマに動植物を使い、私がかこれまで生きてきて感じ得たことを表現した。（樋口）

樋口 新 HIGUCHI Arata
1988年 三重に生まれる
2007年 京都造形芸術大学 入学
2009年 第9回福知山市佐藤太清公募美術展 入選
2010年 第5回日本画公募展前田青邨記念大賞展、入選
第21回臥龍桜日本画大賞展 入選
日展 初入選(同11年)
2011年 池田泉洲銀行カレンダー原画公募展、佳作
京都造形芸術大学卒業
現在 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修士課程在籍

2月21日(火) - 2月26日(日)

高村 総二郎 × 竹林 柚宇子 (日本画二人展)

西洋と東洋 立体と平面 光と陰 象と余白 自然と人間 男と女
モノトーンとカラー 倍数と約数 一瞬と永遠 無言と多言 派手と地味
意識と無意識 過去と現在 軟と硬 直喩と隠喩 弛緩と緊張 内と外
相対と絶対 冷と暖 広重と北斎 粗と密 寡黙と饒舌 曖昧と明瞭
模倣と創造 本物と贗物 ポケとフォーカス 版画と絵画 京と江戸
(高村)

- 高村 総二郎 TAKAMURA Soujiro
1965 大阪府に生まれる
1988 京都市立芸術大学日本画卒業
【 個展 】
2010 田中美術 兵庫
【 グループ展 】
1998 東京都夢の島熱帯植物館芸術祭'98/夢の 島熱帯植物館 東京
1999 地球散歩/夢の島熱帯植物館 東京
2006 第12回尖展/京都市美術館 以降毎年出品
2007 京都の呼吸力尖東京展/佐藤美術館 東京
2008 第27回損保ジャパン美術財団選抜奨励展/東郷青児美術館 東京
第4回トリエンナーレ豊橋星野真吾賞 展/豊橋市美術博物館 愛知
2010 jpアートnow! 2010/ハイアットリージェンシー 京都 京都
神戸アートマルシェ2010/ポートピアホテル 兵庫
2011 アートフェア京都/ホテルモントレ京都 京都
第5回トリエンナーレ豊橋星野真吾賞展審査員推奨
/豊橋市美術博物館 愛知
東京アンデパンダン展2011/J trip art GALLERY 東京
RED DOT ART FAIR MIAMI/Wynwood Art District U.S.A

晴れた日の朝。洗濯物を干しながら空を仰ぎ見る。
鳥が飛んでいる。娘が小さな手でそれを指差し「カーカー」と言う。
竿に掛けたシーツを透す陽の光が柔らかい。
穏やかな日常。愛しい日々の風景を描く。
(竹林)

- 竹林 柚宇子 TAKEBAYASHI Yuko
1971 滋賀県に生まれる
1994 嵯峨美術短期大学日本画専攻科卒業
2000 グループ尖展(京都市美術館別館) ~以後毎年
2002 「-ART APART-」(東京三鷹市芸術文化センター)
2003 京都府美術工芸新鋭選抜展(京都文化博物館 '04)
NEXT展/招待作家として出展(高島屋)
2005 個展(石田大成社 '06)
2006 個展(京都大丸アートのスポット)
新世代の日本画展(京都大丸美術館画廊 '07)
2007 尖 東京展(佐藤美術館)
池永康晟と竹林柚宇子 二人展(ギャラリー恵風)
2008 個展(Fine Art THE GALLERY クラウンプラザ神戸)
2009 京都 日本画新展(JR京都伊勢丹・美術館えき)
「それぞれのかたち」岩崎絵里・竹林柚宇子 二人展
(大丸心斎橋店、東京店)
2010 jpアートnow! 2010/ハイアットリージェンシー 京都 京都
2011 「諧謔と叙情」高村総二郎・竹林柚宇子 二人展
(ながの東急百貨店、水戸京成百貨店)

2月28日(火) - 3月4日(日)

前田 和子 展

- 星の透ける夜に -

「静けさ」それは私にとって大きなテーマの一つである。
太陽が昇り沈むとき、何かが眠りにつくとき、生まれ、そして死ぬとき、
それは普遍的で静かでゆっくりとした時間。
私にとって静けさとは物事のすべての音であり存在そのものなのである。
(前田)

- 前田 和子 MAEDA Kazuko
1986年 兵庫に生まれる
現在 京都造形芸術大学 大学院 日本画領域 在学
主な展覧会
2010年 「卒業制作展」京都市美術館/京都
千住賞 学長賞 学科賞
2011年 「京都日本画新展」美術館「えき」KYOTO
・ホテルグランヴィア京都/京都
「画心展-selection-」佐藤美術館・東京芸術学舎/東京
企画「グループホライゾン」
日本橋高島屋・美術館廊(A B画廊)/東京
「第20回奨学生美術展」佐藤美術館/東京
「碧い石見の美術展2011」石正美術館/島根
企画「十一の海-キョウト ノ ニホンガ ト ヤキモノ-」
日経ビルspace nio/東京
2012年 「京都日本画新展」美術館「えき」KYOTO
・ホテルグランヴィア京都/京都

2月28日(火) - 3月4日(日)

新免 泉 個展

「死と少女」

2010~2012年までの作品による初の個展です。
展覧会のテーマは「死と少女」。私はこれらに美しさを見出し、
その結果を描き続けてきました。美しさとは何かを模索しながら
生み出した、作品という私の結末が、お越し頂く方にとって
の起因たることを願っています。(新免)

- 新免 泉 SHINMEN Izumi
1990年 岡山県生まれ
2012年 京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース在学
活動歴
2009年 アートサプリ展 (グループ展、岡山県、勝央美術文学館)
2010年 in progress展 (グループ展、岡山県、勝央美術文学館)
2010年 アートオークション A-CTION (京都府)
2010年 贈展 (グループ展、京都府、ギャラリー恵風)
2011年 画心展 (京都造形日本画選抜グループ展、
京都府、むろまちアートコート)
2012年 画心展 (京都造形日本画選抜グループ展、
京都府、むろまちアートコート)

今後の展覧会 ->

- 3/6~3/11 藤信知子 展(陶)
3/13~3/18 谷口順子 展(絵画)
3/20~3/25 安部ゆかり 展(絵画)
3/27~4/1 岩崎咲子・本岡千尋 展(版画)

- 3/6~3/11 京都造形芸術大学 版画工房 「30x30ノ窓」
3/13~3/25 西川 勝 展(陶)
3/27~4/1 林 聖子 展(版画)



OPEN 12:00~19:00 (最終日 18:00 まで)
月曜休廊

ACCESS 市バス 熊野神社前 下車すぐ
京阪神宮丸太町駅より徒歩 5 分
京都市美術館より徒歩 7 分

